

「ねんりんピック宮城・仙台2012大会」に参加して

H24年10月吉日

報告 静岡市ダンスチーム

代表 佐藤清蔵

今年の大会は昨年3月に大震災に遭遇された宮城県で行われると言うことで色々な思いがあったが、無事にそして想像に反して盛大に、華やかに、元気よく行われた事に感銘をうけた。以下当初から最終までを追ってみた。

事前経過

1) 12月1日付で“全国健康福祉祭静岡市実行委員会”から「ねんりんピック宮城・仙台2012」の予選会の実施調査について、の依頼があり実質的にスタートとなった。

今年は、選手選考の予選会を静岡市単独で行う事となり、「ねんりんピック」開催の前年度である3月に静岡市DS 連盟主催の競技会と併催したいとのことから“同実行委員会”に相談し、そのようにシラバスも作成して送付し了解を得た。

2) 2月9日付で同実行委員会から、3月14日の実行委員会に出席の依頼あり、会議では種々協議が行われたが、今大会は順番で「ダンススポーツ」チームから、静岡市の団長と開会式入場の旗手を務めるよう依頼があった。

また予選会の報告書をその収支を併せて提出するよう依頼あり。その内容により負担分(限度あり)を助成するとの事。

3) 3月18日(日)に予定通り予選会を行なった。

参加者は ワルツ13組、タンゴ12組、チャチャチャ10組、ルンバ12組、合計人数34名 エントリー数47で、皆様のご協力により 昨年より多数の参加をいただいて盛大に行う事が出来た。

予選会は一般競技に挟んで行ったのでタイムテーブルの作成には苦心したが、試合進行は順調に推移した。

4) 後日代表選手の選考会を行い、予選会での成績をもとに下記のように決定し夫々に通知した。尚、代表選手である岩崎千春さんに開会式に於ける旗手を依頼した。

ワルツ	岩崎千春	岩崎恵美子	チャチャチャ	葉嶋久広	西島民子
タンゴ	鈴木雅之	鈴木英子	ルンバ	平野誠一郎	小林芳枝

5) 5月19日(土)には、県立草薙総合運動場陸上競技場で「県すこやか長寿祭総合開会式」が例年のとおり行われた。

6) 5月31日付にて上記代表選手の報告を含めた予選会報告書を提出した。

収支については、一般の競技会と併催のため予選会を単独に行った事を想定して作成した。

7) 6月20日付で実行委員会よりユニホーム注文の依頼あり、直ちに代表選手からサイズを指定した注文をうけ発注した。ユニフォームは9月初旬入荷し配布した。

尚、来年は高知県が主催であるがダンススポーツは行われぬ。次は栃木県、山口県、長崎県、秋田県、富山県と続く旨連絡あり。

8) 9月中旬 宿泊先の決定と個人負担金の通知があり、各選手分を取りまとめ振込を行なう。

行動開始

1) 9月24日(月)結団式

静岡市役所17階、会議室で、田辺市長はじめ市職員ならびに各競技の代表選手がユニホーム着用で参加した。

大会は正式に10月13日から15日に行われることが報告され、最初に市長から選手に対し励ましの挨拶があり、その後 小生が参加選手を代表して、参加に対する経過と意気込みおよびお礼等を述べ、続いて選手宣誓が水泳の代表選手によってお行われた。

次葉へ

前葉より

参加に必要グッズの配布の説明と行程、日程などについて市職員から資料と共に詳細な説明があった。

結団式では、田辺市長より小生が団旗の授与をうけ旗手である岩崎さんに手渡し、愈々ねんりんピックに対する想いが各選手に高まるのを憶える。

2)、10月12日(金)さあ出発

静岡駅北口竹千代像の前11:30集合、17種目103名の選手が一斉に出発だ。

市担当職員から本乗車券と乗車車両、座席指定の説明表、その他乗換についての説明書等を頂く。

選手一同の点呼を経て12:37発の新幹線“ひかり”の指定席に乗車、車内で配布されたお弁当をいただく。

13:40東京到着、14:00発臨時列車「元気・ねんりんピック号」指定席に乗車、15:49仙台到着、その間静岡駅北口から始まって仙台駅で下車するまで、それぞれ練習などで話す機会もなかった事まで笑顔で歓談し長旅にも拘わらず、あつと言う間に現地に着となった。仙台駅では駅長名入りの、大きな歓迎横断幕で私達を迎えてくれ大変うれしく思った。

仙台駅からは現地実行委員会係員の引率により、徒歩で街中を見物しながら「ホテル法華クラブ仙台」に向かった。街は私が想像していたより遥かにスケールが大きく立派なものにはびっくりした。

ホテルでは18:00から静岡市選手団の懇親会が行われた。最初に市担当職員から明日の日程について詳しい説明があり、乾杯の合い図で懇親会に入った。また市担当職員のご配慮により、異なるチームの方々とも丸テーブルを囲み歓談することが出来、料理、飲み物とも充分で大変良かったと思った。

3) 10月13日(土)今日は開会式

つぎの宿泊ホテルへの手荷物輸送の手配をすませ、6:30からの朝食の後、7:30集合し前記の係員の引率により、地下鉄電車を利用して仙台市陸上競技場に向かった。9:30には自転車競技場に全選手団が整列、10:30頃から陸上競技場に入場となり、常陸宮ご夫妻のご臨席を頂き、静岡市選手団はキッズのプラカードによる先導で、岩崎 千春旗手を先頭に予め準備された「富士山図柄」入り扇子を全員で、8の字に振りながらのアピールで、応援メッセージを受けながら入場した。また国旗、福祉祭旗、宮城県旗、など掲揚し聖火入場と聖火台へランナーによって点火された。それは見事なものであった。

全国から集まった67団体、約7000人の入場はそれはそれは立派なものであった。幸天候にも恵まれてのんびりと多彩なアトラクションを昼食をしながら観覧する事ができた。

ふれあい広場ではいろいろな出店、催しなどあり賑やかであった。

練習会場とホテルでの夕食等の時間の関係を考慮して、先は練習をすることにして開会式、アトラクションが終了するのを待つように補助競技場経由で、2~3泊目のホテル(ホテルリッチフィールド仙台)に向かい、明日の競技の練習に会場へまっしぐらに向かった。

一方小生は専用バスで仙台市体育館の会議室で行われる監督会議に行く。会議では各チーム毎にゼッケンが渡され、詳細な資料により明日の説明を受けた。

ホテルでは夕食後皆に集まってもらい、個人戦 団体戦のゼッケンを配布し、それらの説明をし就寝とした。

4) 10月14日(日)競技会開始

私達は準備のため5時前に起床し、食事を6時に済ませて6時45分ホテル前から、競技場である仙台市営体育館へ、係員の了解を経てタクシーにてダンス競技会場である仙台市体育館に向かった。体育館内外では現地係員、関係者大勢が拍手をもって迎えてくれた。

会場も立派な会場でフロアーも A、B と2面設定し、2階の一般観覧席のほかフロアーの左右に雑段式の選手専用の席が設けられていた。

更衣場所のチーム毎のマスも今までより広くハンガースタンドも準備されていて良かった。

前葉より

競技進行も非常にスムーズで、音響も素晴らしく元気そのものであった。

そんななかで今回は今までに無く、選手のレベルが全体に高いと感じたことだ。

それでも私達チームは良く活躍して、個人戦ワルツで岩崎千春・岩崎恵美子組が176組出場中で5位に入賞を果たしたのを初めとして、皆善戦し準決勝、4次予選等進出した。

また団体戦で3次予選、準決勝戦、と進み、決勝に残った瞬間は皆で歓声をあげた。そして8組出場の結果として67組中7位に入賞したのだから良かった。でも1位～3位は金、銀、銅のメダルと賞状を貰えたのに、4位～6位までは優秀賞の銀メダル、それ以下の無は残念でした。

5) 終了後

ホテルにての食事で乾杯し、今までの経過をそれぞれ色々な想いを浮かべながら歓談して喜びあい、次の機会にも参加できるように頑張ろうと誓い合った。

6) 閉会式

10月16日(火)東京エレクトーンホール宮城にて、12:30か開場で行われた。

これは静岡市選手団代表として参加してくれとの静岡市実行委員会からの要請で小生が参加となった。

参加は各団体役員、代表など合計約400人、その他アトラクションなど関係者含めて500人位である。

各団体の団旗を持った代表が壇上を進み団旗を返納した。また次回開催地の高知県役員に大会旗を宮城県役員から手渡し、色々挨拶等があり閉会となった。

尚、その間多彩なアトラクションの数々が、被災地どこ吹風とばかり元気よく立派な芸を披露してくれた。終了は14:20頃で、小生らは新幹線にての帰路となった。

最後になったが市担当職員のご配慮で前回同様ツインルームをとって頂き大変良かった。ペア同士仲良く譲りあって部屋を配分してくれて良かった。

また大きな荷物はそれぞれ早めにホテルに送ったのは移動が楽であった。

7) 市長報告会

10月30日(火)に静岡市役所8階市長公室にて、市長は勿論のこと市担当職員も出席され、各種目の入賞選手、団体による「市長報告会」が行われた。皆最高の笑顔で種目団体毎にメダルなど持参して、感想結果など報告した。これにより今年度の「ねんりんピック」が全てが終了となった。

終わりに今回の大会開催に当たり地元役員、関係各位、地元の大勢の皆様、静岡市担当役員、関係者の方々には絶大なるご配慮を頂き大変ありがたく感謝すると共に厚くお礼申しあげます。

以上。

